



いじめダメ!STOP! ～いじめ防止啓発～

みなさんは上のロゴを見たことがありますか?コンビニやいろいろなお店で目にしたこともあるかもしれませんね。このロゴは沖縄県が平成16年に定めた条例を表現したもので、犯罪の発生を抑え全ての人が手を携えて、安全で安心して暮らせる地域社会を表したものです。これは学校においても同じで「安全・安心」な学校・学級というのは、生徒のみなさんが学校生活を過ごしていく上で、必要不可欠な条件の一つだと考えています。

「那覇市いじめ防止基本方針」では8月第3月曜日から9月第4金曜日を『いじめ防止強化月間』と定めています。本校でも1学期前半に、SNSトラブル防止・少年犯罪未然防止・薬物乱用防止について「安全支援授業」や「教育相談週間」をもちました。先ほど紹介した「ちゅらさん運動」と同様に「学校・家庭・地域」が手を取り合って協力し、社会全体でいじめを許さないという気運を高め、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応をめざした取組です。

いじめは、いじめを受けた子どもの教育を受ける権利を奪い、大切な命までも危険にさらしてしまう決して許すことのできないものです。また、いじめは誰にでも、どこでも起こりうるものであり、本校においても例外ではありません。みなさんの周りでも困っている人はいませんか。

学級・部活動の様子は?

令和7年度も折り返しが近づいています。この半年で、学級や学年、部活動、地域の活動などで多くの方と出会い、関係を築いていることだと思います。多くの人と出会うことは、いろいろと『違う』ことに気づく場面が増えることにほかなりません。その中で戸惑ったり、困ったりすることがあります。このすれ違いがトラブルになることも少なくないと思います。そこから「いじめ」が始まることもあるのです。

次の詩の一節を聞いたことがありますか。『みんなちがって みんないい』。これは金子みすゞさんの「わたしと小鳥とすずと」の詩の中の一節です。もちろん知っていますよね。この『みんなちがって みんないい』が「いじめ」を起きにくくするための環境づくりには大切な考え方だと思います。

いじめをさせない 見逃さないために...

「いじめ」を許さない集団づくりのためにはどうしたら良いのでしょうか。「じぶんはいじめはしない」と思っている、身の周りに起こっている「いじめ」や「いじめかもしれない」出来事を放置したり、無関心であったりしていませんか。このような「観衆」や「傍観者」に自分になっていないかを振り返る必要があります。よくあるいじめのケースでもいじめを行う側の生徒が「いじめ」という認識をもっていないことがあります。また「いじめ」に実際に関わっていません、その行為を面白がって見ていたり、はやしたてたりする「観衆」や、それらを見て見ぬふりをしている「傍観者」という立場では、いじめを解決していくことはできません。



このショッキングなイラストは「文科省が示した犯罪に該当しうる悪質いじめ19事例」をイラストで紹介している『親羊』さんというイラストレーターが、「いじめ」について広く知って欲しいという思いで描かれたものです。興味のある人は、ぜひ調べて欲しいと思います。

生徒のみなさん、いじめをゆるさない、いじめられる人を生まないことはもちろんですが、「いじめの人」をつくらないことも同じように大切です。仲間として一人ひとりを思いやり大切にしていきましょう。そして、保護者のみなさま、いじめは犯罪となりえるケースもたくさんあります。上記で紹介した「文科省が示した犯罪に該当しうる悪質いじめ19事例」を、ぜひご参照いただければと思います。また、子どもを被害の側だけでなく、加害の側にもするわけにはいきませんし、保護者の責任も問われることもあります。もちろん学校も十分な手立てを講じていかなければ、その責任が問われることも自覚しております。「**子どもを守る**」という強い意志のもと、日々の子どもの様子を見落とすことなく、会話を続けながら、子どもたちに寄り添っていきましょう。気になる様子があれば、いつでもご相談ください。今後ともよろしくお願いたします。

裏面に紹介するのは、県のリストを参考に作成した本校の『いじめ早期発見のためのチェックリスト(家庭用)』になります。家族に心配をかけたくないという思いから、自分からいじめられていることを打ち明けられないお子さんもいます。しかし、必ずといって良いほど、兆候が見られることが多いようです。「いじめ」の早期発見のために、下記の項目をチェックしてみてください。何かお気づきのことがありましたら、ご家庭での話し合いの話題にあげてください。

子どもの態度や様子がおかしいと感じたら・・・

- じっくり聞きましよう**
お子さんが話し始めたら、まずは、自分の意見をささず最後まで聞いて下さい。
- 学校に相談しましよう**
学校では、担任はもちろん、校長・教頭・養護教諭・スクールカウンセラー等が対応します。
- 相談できる機関があります**
学校に相談しにくい、他の意見も聞いてみたい、対応に困っているというときには下記の相談機関があります。

関係機関連絡先

- 那覇市教育委員会 学校教育課 098-917-3506
- 那覇市教育委員会 教育相談課 相談室『はりゆん』 098-832-7868
- 青少年ダイヤル「なは」 098-832-7867
- 那覇市こどもみらい部 子育て応援課 子育て支援室 098-861-5026
- 那覇警察署 098-836-0110
- 豊見城警察署 098-850-0110
- 警察安全相談 #9110
- 県警少年サポートセンター(ヤングテレホンコーナー) 0120-276-556
- 沖縄県中央児童相談所 098-886-2900
- 子どもの人権110番(那覇地方方法務局) 0120-007-110



那覇市いじめ防止対策連絡会

那覇市教育委員会・那覇市PTA連合会・那覇市小中学校校長会
那覇市こどもみらい部子育て応援課子育て支援室・沖縄県中央児童相談所
那覇警察署・豊見城警察署・那覇地方方法務局・学校警察連絡協議会
事務局(那覇市教育委員会 学校教育課 098-917-3506)

1	日常生活の変化	学校へ行きたがらない。	<input type="checkbox"/>
2		イライラしたり、おどおどして落ち着きがない。	<input type="checkbox"/>
3		衣服の汚れが見られたり、よくケガをしたりしている。	<input type="checkbox"/>
4		お風呂に入りたがらなかつたり、裸になるのを嫌がる。	<input type="checkbox"/>
5		食欲が無くなったり、体重が減少したりする。	<input type="checkbox"/>
6		寝付きが悪かつたり、眠れなかつたりする日が続く。	<input type="checkbox"/>
7		表情が暗くなる。	<input type="checkbox"/>
8		部屋に閉じこもり、ため息をついたり、涙を流したりする。	<input type="checkbox"/>
9		外に出たがらない。	<input type="checkbox"/>
10		携帯電話、SNS等をいつも気にしている。	<input type="checkbox"/>
11		不審な電話や嫌がらせの手紙や紙切れなどがある。	<input type="checkbox"/>
12		ネットやゲームなどに熱中し、現実から逃げようとする。	<input type="checkbox"/>
13		「自分はダメだ」と自己を否定する言葉や行動が見られる。	<input type="checkbox"/>
14	友人関係の変化	「転校したい」「部活をやめたい」などの話をよくする。	<input type="checkbox"/>
15		先生や友達を批判する言葉が多くなる。	<input type="checkbox"/>
16		親しい友達が家に来なくなる。	<input type="checkbox"/>
17		友達からの電話に丁寧な口調で対応する。	<input type="checkbox"/>
18	友達のことを聞かれると怒り出す。	<input type="checkbox"/>	
19	家族との関係の変化	保護者にかくしごとが多くなる。	<input type="checkbox"/>
20		言葉遣いが荒くなり、家族に反抗したりする。	<input type="checkbox"/>
21		学校の様子を聞いても話したがらなくなる。	<input type="checkbox"/>
22	保護者が学校に来るのを嫌がる。	<input type="checkbox"/>	
23	持ち物の変化	学用品や所持品が紛失したり破損している。	<input type="checkbox"/>
24		教科書やノートが破られたり落書きされたりする。	<input type="checkbox"/>
25		家庭から金品を持ち出したり余分に金品を要求する。	<input type="checkbox"/>